

親切運動の取組について

学校名 滑川市立北加積小学校

児童生徒数 187名

1 親切運動の取組の紹介

(1) あいさつ運動

① 主な取組について

毎朝、企画委員会が中心になって行っていたあいさつ運動を2学期は拡大させて行った。各クラスで選出された「あいさつ名人」もあいさつ運動に参加した。

② 成果と課題について

今までのあいさつ運動は、企画委員会のメンバーが登校してくる児童に挨拶をしていたのだが、参加者が増えることによって、企画運営委員の挨拶の声もより大きくなり、今まで以上に活気あふれる活動となった。また、挨拶される児童も、自分のクラスの友達が大きな声で挨拶している姿を見て刺激を受け、笑顔で挨拶を返す姿が見られた。今後も地域の方や見守り隊の方々にも大きな声でさわやかに挨拶できる姿を目指して取組を継続させていきたい。



(2) 大外遊びデー

① 主な取組について

毎月第2水曜日の晴れた日は、「大外遊びデー」と称して、清掃活動の時間を短縮し、お昼休みを含めて30分間、全校児童がグラウンドで外遊びをする活動を取り入れている。好きな遊びをする児童や、体育委員会が企画した「しっぽ取りゲーム」や「おにごっこ」に参加する児童等、学年の枠を超えた活動を行っている。

② 成果や課題について

晴れた日に外で学年の枠を超えた遊びをすることで、上学年の児童は下学年の身体能力を考慮して遊ぼうとし、下学年の児童は上学年の思いやりあふれる姿をお手本としようとするので、長期的な親切の連鎖が生まれている。すり傷等の怪我をする児童の数が増えてしまうことが懸念されるが、今後も安全な遊びを心がけながら活動を続け、思いやりの心を育てていきたい。



2 親切運動に取り組んで — 取組の成果、課題と今後に向けて —

この2年間の取組は、本校にとって多くの成果をもたらしたと言える。本校の雰囲気も周りの人に親切にすることが当たり前となり、思いやりのある「あったか言葉」が自然と口から出る児童が多くなった。今後は、今行っている取組をブラッシュアップしながら継続し、本校の温かい雰囲気が持続できるようにしていきたい。